

分析業務を通じてJAの中期計画策定を支援

QGISを活用した地図作成や、「地域の農業を見て・知って・活かすDB」のデータを提供することなどにより、JAの中期計画策定を支援。

○ 施策分類

統計

○ きっかけ・背景、課題の把握

当拠点では、地域の課題や現場のニーズを把握するため、JAや普及センター、市町村等の関係機関と意見交換を行っている。その中で、データ収集・分析業務を紹介をしたところ、JAあさひかわ職員から「JAの中期計画策定の参考としたいので、近郊も含めた農業集落ごとのデータを提供してほしい。」との要望があった。

○ 取組の内容

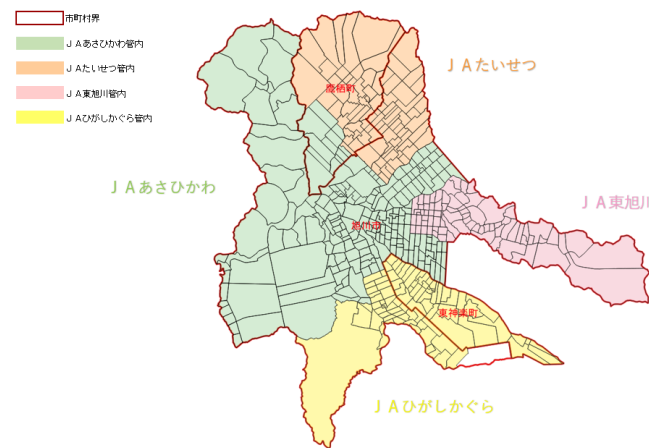
JAあさひかわとその周辺の3JAは、それぞれ管轄エリアが市町村をまたいでいることから、QGIS※を使って市町村境界、JA境界がそれぞれ分かるようように地図上に表示させ、農林業センサスデータを載せた形で提供。

※地理空間情報データの閲覧、編集、分析機能を有するGIS（地理情報システム）無料ソフト

○ 効果・成果、今後の方向性

JAあさひかわが求める農業集落データに加え、集落ごと・JAごとにデータを可視化することにより、地域農業の現状把握及び将来予測に繋げることを可能とした。

今後は、このようなデータ提供を他のJAにも積極的に提案し、各地域の課題解決につなげていく。



(図1) 複数市町村にまたがった広域農協の管轄を地図上に表記

(図2)

データ分析業務の体制図

